

向陽中学校だより<第18号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 他とつながり、自己の目標達成に向け全力で努力できる

平成30年2月15日(木)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
TEL 35-2348 Fax 35-2849

インフルエンザによる出席停止数は先週に比べ減少傾向にはありますが、まだ安心はできない状況です。お子さんのご家庭での健康管理をよろしくお願いします。

さて、過日の県立高校Ⅰ期・連携型選抜では、54名の生徒が合格内定をいただきました。おめでとうございます。全体会では高校入学は将来に向けての新たなスタートであり、高校卒業後のことをイメージして、3年間頑張ること。今まで応援していただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、自分の将来の夢や目的を持ち、それを叶えるために、自分から行動を起こすよう話をしました。これからⅡ期選抜があります。ご家庭でも応援いただき、3年生全員が進路達成できますようこれからもご家庭のご協力をお願いします。

“光陰矢のごとし”、本年度の残りの授業日数は1, 2年生25日、3年生は18日となりました。9日にはPTA役員選考会、13日にはPTA専門委員会・運営委員会が実施され、これから1, 2年の学年末テストや修学旅行、来月の8, 9日には県立高校Ⅱ期選抜試験、そして13日には卒業式があります。最後の締めくくりとして、事故等がないよう今やるべき事にしっかりと取り組ませたいと思います。また、今までの子ども達の頑張りが成長ぶりを認め、励ますとともに、課題をはっきりさせて、来年度の進級・進学に向けての自覚や心構え、希望が持てるよう話をしていきますので、ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。



家庭学習～家庭・地域の関わり～



過日、ふくしまの「家庭学習スタンダード」を配付しました。その後、お子さんの家庭学習の取組に変化が見られたでしょうか。県教育委員会より資料が届きましたので一部紹介します。

(質問) 心の支えとして、「ちょっとした変化に気づいて、認めてあげることが大切ね…」とありますが、「褒める」ではなく「認める」になっているのはなぜですか。

(答え) 『褒めて(自信を持たせて)育てる』という発想よりも、『認められて(自信を持って)育つ』という発想の方が、子どもの自信が持続しやすい。:「認める」は、結果だけでなく過程を見取ることで可能になり、興味や関心、意欲を引き出す動機付けになります。家庭・地域の方が「認める」機会を増やすために、「ちょっとした変化に気付く」ことがとても大切です。

キャリア教育の充実

減少傾向にあるものの、全国の高校において毎年約5万人の生徒が中途退学しています。高校生の約100人に1人は退学していることとなります。その理由で1番多いのは、「学校生活・学業不適応」で、内訳は多い順に、『①もともと高校生活に意欲がない、②授業に興味がない、③人間関係がうまく保てない、④学校の雰囲気が合わない』となります。

高校進学はゴールではなく、社会に貢献し社会人として自立していくための通過点です。この考え方、「一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程、つまりキャリア発達を促す教育」=キャリア教育(裏面をご覧ください)がとても重要であると考えます。

前号で示しました重点目標「誰とでも対話し、目標達成に向け創意工夫してやり抜く」を支える育てたい4つの力、「自己を伸ばす力」「働きかける力」「見通す力」「将来を考える力」はこの視点から生まれたもので、将来社会や地元相馬で活躍する将来の姿を見据え、現在必要とされる力です。例としては、学級活動の進路の時間に、「学ぶこと・働くことの意義」「進路適性の吟味」「主体的な進路の選択と将来設計」等を1年生の時から学んでいます。夢を形にするドリームマップワークショップや先輩に学ぶ、塾講師出前講座等を新たに実施する予定です。相馬東高校との中高連携事業も継続して実施します。

裏面もご覧ください

キャリア教育とは

◇キャリア教育の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

◇キャリア発達

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」という。

◇現在の学習、将来にとって重要なキャリア教育

○ 充実した計画に基づいてキャリア教育をしている学校ほど、学習意欲も向上する傾向にある。

↓ キャリア教育を通じて ↓

児童生徒が学校での学習と自分の将来との関係に意義を見だし、学ぶ意欲をかき立てられる。

この双方が重要となる！



日々の学習を通じて、児童生徒が今学んでいることを将来社会で役立てられるよう、しっかりと身に付けさせる。

○ 将来待ち受ける困難について教えるのもキャリア教育の役割

→ キャリア教育では、卒業後の進路だけではなく、近い将来に加えて遠い将来のことも意識しながら、教え導くことが求められる。

◇キャリア教育で育成すべき力 = 「基礎的・汎用的能力」 =

「自己理解・自己管理能力」

→自分の良さ（長所）生かし、困難さや苦手意識があっても、「やればできる」と考えて主体的に行動できる能力

「人間関係形成・社会形成能力」

→他者を尊重し、相手の意見を聴いて自分の考えを積極的に伝えるとともに、他者と協力・協働して行動し、リーダーシップがとれる能力

「課題対応能力」

→分からないことや知りたいこと（進路情報）に対し、自分から進んで資料や情報を収集し、課題や目標達成に向けて計画を立て、実践し、やり方を改善できる能力

「キャリアプランニング能力」

→働くことの意義や自分の役割を理解し、将来について具体的な目標や夢を持ち、その達成のために努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりする能力